

第四十九回帝國議會
衆議院

復興貯蓄債券法案(政府提出) 委員會會議錄(速記)第二回

會議

大正十三年七月十日(木曜日)午前十時二十分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 竹内友治郎君

理事 加藤 鯛一君 理事 杉 宜陳君

理事 高木 正年君

清水留三郎君

紺野九右衛門君

山田 又司君

八木 逸郎君

東 幸治君

藤澤萬九郎君

岡田 忠彦君

淺賀長兵衛君

川崎 克君

浦野 謙朗君

禱 苗代君

木暮 正一君

佐々木長治君

同月九日委員井出繁三郎君辭任ニ付其ノ補闕トシ
テ禱苗代君ヲ議長ニ於テ選定セリ

出席政府委員左ノ如シ

社會局部長 三矢 宮松君

大藏次官 小野 義一君

大藏省理財局長 富田勇太郎君

大藏省銀行局長 松本 脩君

大藏書記官 津島 壽一君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

復興貯蓄債券法案(政府提出)

○竹内委員長 サウスルト是カラ開會致シマス

○八木委員 私ハホンノ細カイ事バカリ承リマス

カラ、委員長ニ御願シテ置キマスガ、一問一答デ

御願シタイト思ヒマス、割引又ハ利子据置ノ方法
ニ就テ承リマスガ、利子据置ノ方法ト云フコトハ

前拂ノ利子トシテ例ヘバ十圓ノモノヲ五圓ハヤル

トカ、若クハ十圓ノモノハ十圓ニシテ置イテ、終

リニ償還スルトキニ利子ハ斯々ノ割合ニ附ケヤ

ウ、斯ウ云フ方法ト考ヘテ宜シイデスカ

○小野政府委員 其通りデゴザイマス

○八木委員 サウスルトニ通りニナルノデアリマ

スガ、ドナラカ、マダ分テ居ラヌデスカ

○小野政府委員 是ハ其方法ハドナラガ宜イカト

云フコトハ種々説ガアルヤウデス、勸業銀行デモ

割引ノ方法一度ヤタコトガアル、据置ノ方ハマ

ダヤラヌヤウデス、政府ノ方デハドナラモヤリ得

ルト云フコトニ法律ヲシテ置キマシテ、其時ノ模

様ニ依ッテドナラヲ先ニスルカ、ドナラヲ後ニスル

カ成ベク兩方共ヤッテ見タイト思フ

○八木委員 兩方共ヤルト云フノハ……

○小野政府委員 一度ニデナク、初メ据置ヲヤッ

テ其次ニハ割引ヲヤル、代リ番ニヤル、同ジ第一

回ナラ第一回ニ兩方ヤル譯ニハ參リマセヌ

○八木委員 何レニシテモ其何レカニ向ッテ償還

ノ時ニ割増ヲ附ケル、斯ウ云フノデスカ

○小野政府委員 何レニシテモ割増ヲ附ケタイト

云フ積デス

○八木委員 而シテ二十年ニ償還致シマスノト、

或ハ五年以内ニ償還致スノト、色々アリマセウガ、

全體ニ於ケル所ノ割増金ノ色々ナモノヲ混ゼテノ
平均ノ利廻ハドノ位ニナッテ居リマスカ

○小野政府委員 利子据置ノ方法デ發行シマス

ト云フト、債券ノ利子割増金ノ歩合、經費——經

常臨時ノ經費ヲ範メマシテ約六分見當デアリマス

○八木委員 債券者ガ取ル利率ハ幾ラニナリマス

カ

○小野政府委員 債權者ノ取ル利率ハ約五分五厘

デアリマス

○八木委員 ソレカラモウ一ツ御尋シマスガ、一

番最初ニ償還サレタモノト、二十年後即チ終末ニ

償還サレタモノト、其利息ハドノ位ニナッテ居リ

マスカ

○富田政府委員 此發行ノ方法ニ二通りアリマシ

テ、利子据置ノ方デ申シマス、最初デモ後デモ

大體利子トシテハ、四分ノ複利トシテ計算致シマ

ス、其外ニ割増金ガ附ク譯デアリマス

○八木委員 ソレハ仰セノ通りデアリマスガ、五

年ノ間ニ假ニ一番先ニ償還ヲシテ貫ッテ割増金ヲ

得ル、サウスルト其利子ハ非常ニ大ナルモノデア

ル、ソレカラ二十年ノ終末ニ受ケルモノハ其利子

ハ非常ニ少イモノデアル、其差ヲ聽キタイノデア

リマスガ、第一回ノ償還ヲ受ケテ、割増ヲ得ル利

率ハドノ位ニナリマスガ、終末ニ於ケルモノハド

ノ位ニナリマスガ

○富田政府委員 併シ割増金ハ色々ノ種類ガアリ

マス、最後ニ償還ヲ受ケマス所ノ割合ヲ申上ゲルコトハ一寸困難ト存ジマス

○八木委員 イケナイト云フノデスカ、不都合ト云フノデスカ

○富田政府委員 後程計算シテ御答致シマス

○八木委員 先程五分五厘ト仰シヤッタガ、勸業銀行ハ常ニ左様ナ方法デ資金ヲ吸收シテ、地方ノ産業トカ、或ハ家屋トカニ、農工銀行ヲ通ジテ——或ハ直接ニ貸シテ居ルモノモアリマス、此五年間ニ之ヲ存置ナサルト云フコトニ相成リマシタナラバ、勸業銀行ハ其債券ヲ扱フト云フコトハ中止ニナルヤウニ承リマシタ、然ラバ其間ニ勸業銀行ガ目的トシテ——勸業銀行獨特ノ貯金銀行トシテ、政府ガ許シタ其作用ヲ如何ニ營ムノデスカ、之ヲ承リタイ

○小野政府委員 其間割増金附ノ債券ノ發行ハ止メマス、併シ、普通ノ債券ハ矢張發行致シマス、大キナ額面ノ債券ハ出シマス

○藤澤委員 私モ少シ御尋シタイノデスカ、ソレハ昨日カラノ御辯明ニ依リマス約一年ニ四千万圓程募集ナサルヤウニ聴キマシタ、其募集シタ金額ハ預金部ニ收容致シマシテ、ソレハ既ニ費途ガアルカニ承ハッテ居ルノデアルカラシテ、他ノ資金ト混同シナイヤウニ、半分ヅ、復興費ト地方ノ發展費トニ使フ、斯ウ云フコトノヤウニ承リマシタ、サウスルト半分ハ先ヅ地方ニ使ハレテ、二千万圓ハ出ルモノ、如クニ觀察サレマス、所ガ先達テ大蔵大臣ノ御説明ノ中ニ、本年度ニ於テハ此郵便局ノ此復興貯蓄ダラウト思ヒマスガ、其方カラ公債

ノ埋合セトシテ三千五百万圓程使フト云フコトヲ承ッヤウニ考ヘテ居ル、サウスルト四千万圓募集シタモノヲ半分ヅツ使フト云ヘバ、二千万圓ガ復興ノ方ニ使ハレル勘定ニナルト私ハ考ヘル、公債ノ方ノ側カラ考ヘマス三千五百万圓ヲ募集スルト云フコトニナッテ居ル、其邊ガ少シ私ハ臆ニ落チナイノデアリマス

○小野政府委員 ソレハ斯ウ云フコトニナッテ居ルト思ヒマス、三千五百万圓ト云フコトハ郵便局賣出シ、詰リ二十五圓、五十圓、百圓券、之ニ依ッタ分デアリマシテ、復興債券デハアリマセヌ、是大正七年頃ヨリ年々七千万圓バカリヅ、濟崩シニナッテ居リマス

○八木委員 勸業銀行及ビ興業銀行ヲ通シテ一旦募ッタ金ヲ預金部デ借換ヘテ、其金ヲ興業銀行若クハ勸業銀行ヲ通シテ貸付ケルト云フノデアリマスカ

○小野政府委員 勸業銀行若クハ農工銀行ヲ通ジテ貸付ケル、從來割増付勸業債券ニ依ッテ勸業銀行ガ使ッテ居ルト同ジ經路ニヤッテ居リマス、震災地ノ分ハ御話ノ通りデアリマス

○八木委員 其興業銀行及ビ勸業銀行、若クハ農工銀行ヲ通ジテ拂フ利子ハ幾ラニナリマスガ、モウ一ツ聴イテ置キマス、ソレカラ色々政府デモ何ダカ勸業銀行ニ委シテ居ルカ知ラヌガ、色々新聞ニ廣告スルトカ、其他ノ手数料ヲ合セテ全部デドノ位政府ハ之ニ向ッテ使フトコトニナッテ居リマス

○小野政府委員 手数料其他總テヲ入レテ五厘ト云フ細カイ計算ニナッテ居リマス

○杉委員 私ハ此法案ニ付キマシテ多クノ疑問ヲ持ッテ居ルノデアリマスガ、先ヅ第一ニハ先般大蔵大臣カラ御話ガアリマシタノデアリマスガ、此内閣ニ於キマシテハ公債ヲ一般金融市場カラ募集スルト云フコトハ、此公債政策ト矛盾スルモノデナイト云フ説明ノアッタコトヲ承リマシタノデアリマスガ、私ノ見解ヲ以テシマスレバ、成程直接ニハ此債券ハ所謂金融業者ヲ相手ニシテ發行スルノデアリマセヌノデ、即チ各個人ガ持ッテ居ル所ノ金ヲ目的トシテ發行スルノデアリマスカラシテ、直接別ノ問題デアルヤウニ思ハレマスガ、併ナガラ此各個人ノ持ッテ居リマス所ノ金ト云フモノモ、結局ハ是ハ金融業者ノ手ニ集マッテ利用サレテ行クモノデアリマスカラ、間接ニ於テハ政府ガ公債ヲ發行スルト云フコト、關係ヲ持ツト思ヒマス、隨テ此内閣ニ於テ聲明シテ居ル公債打切リト云フコトハ、此點ニ於テ間接ニ一ツノ矛盾ヲ生ジテ居ルト考ヘマス、併シ是ハ見解ノ違ヒデアルカラ多ク論ズルコトヲ止メマスマスガ、若シ政府ノ豫定金額ヲ假ニ四千万圓トシテ、其金額ヲ發行シテ見タガ、應募者ガ少クシテ一千万圓シカ賣レナカッタト云フ場合ニ於テ——從來勸業銀行ガ勸業債券ヲ發行シテ應募額ノ少カッタコトヲ承知シテ居リマスガ、政府ハ預金部又ハ日本銀行其他デ引受ケルト云フ御考ヲ持ッテ居ルカト云フコトヲ御尋致シマス

○小野政府委員 市場ヨリ募集スルモノト、零碎ナル貯蓄ニ依ルヤウナモノハ、區別ガ出來ルト思ヒマス、金ノコトハ廻リモノデアリマスカラ、矛盾ト云フコトハソレハ御意見ト思ヒマスガ、政府ニ

於テハ先般來度々申上ダテ置キマスル通り二億ハ出來ルト思フテ居リマス、ソレガ爲ニ日本銀行ニ春負込マセ或ハ預金部ガ尻拭ヒヲスルト云フコトハナイト考ヘテ居リマス

○杉委員 今日ノ狀態ヲ以テ考ヘマスレバ、私モ同ジク其金額ハ得ラレトハ信ジマスガ、併ナガラ經濟界ノ變遷ハ今日カラ豫測スルコトハ出來マセス、若シ募集ガ出來ナク場合ニ於テハ餘程重大ナ關係ガ生ズルト思ヒマス、此金ノ費途ヲ見レバ震災地ノ復興及地方産業ノ進展ト云フ事ノ爲ニ必要ナル費用ニ充テルト云フコトニナッテ居ル、故ニ若シ此金ガ豫定通り得ラレナクタラ、震災地復興、地方産業ノ進展ニモ使フコトガ出來ナイコトニナルト思フデアリマス、而モ經濟界ノ將來ヲ知ルコトガ出來ヌトスレバ、若シ斯ノ如キコトガアツタラ政府ハ之ニ對スル對策ヲ持ッテ居ルヤ否ヤ、此點ヲ御伺ヒ致シマス

○小野政府委員 杉君モ共鳴シテ下サツタ通り、政府ハ十分募集出來ルト思フテ居リマス、併ナガラ万一出來ナイ時ニハ相當ノ對策ヲ講ジマスガ、御心配ニナッテ居ル震災地復興等ニ付テハ、此金ノミヲ以テヤルト云フ考ハアリマセス、矢張勸業銀行或ハ興業銀行デ、復興費トシテ十億以上ノ金ガ散布サレルカラ、ソレニ依ッテ債券ヲ發行スル機會ガ多カラウト思ヒマス、又普通銀行ト雖モ其儘デットシテ居ッテハ甚セマセスカラ、ソレノ活動スルデアラウト思ヒマス、サウ先キノ事ヲ悲觀シテ今ヨリ直ニ具體的ノ對策ヲ講ズル必要ハ認メテ居リマセヌ

○杉委員 若シヤリ切レナク場合ニハ、從來ノ勸業債務ニ對スルト同ジ意味ニ於テ、預金部ニ於テ引受ケタリスルヤウナコトニナルカ、ドウカト云フコトヲ御尋致シマス

○小野政府委員 若シ募集ガ事實出來ナクテ、尙ホ普通銀行、或ハ其他ニ於テモ債券募集ガ出來ズ、尙ホソレダケノ金ガ要ルト云フコトニナリ、サウシテ預金部ニ資力ガアッテ許スナラバ、サウ云フコトニモナラト思ヒマス

○杉委員 私ハ只今ノ政府委員ノ御答ヲ承テ益、疑フ懷ク者デアリマス、此金ハ預金部ニ入レテ預金部カラ必要ニ應ジテ費用ニ充テ、行クト云フヤウニ承知シテ居リマスガ、若シ市場カラ募集スルコトガ出來ズシテ、而モ其金ガ必要デアルト云フコトデアレバ、預金部ニ於テ之ヲ引受ケルカモ知レヌト云フコトデアリマスガ、サウデアリマスガ、サウデアルトスレバ預金部カラ出シテ復タ預金部ニ入レテ、之ヲ地方ニ向ケ、又復興ノ爲ニ使フト云フコトデアレバ、意味ヲ成サヌコトニナリハシナイカト思ヒマス

○小野政府委員 一應御尤デアリマスガ、サウデアリマセヌ、昨日モ大藏大臣ノ説明ニアルヤウニ、政府ガ貯蓄獎勵ヲ徹底のニヤルカラ、此方法ニ依リマセヌデモソレニ依ッテ資力ガ増加スルト思ヒマス

○杉委員 簡單ニヤリマス、只今ノ政府委員ノ御答辯ハ甚ダ不満足ニ思ヒマスガ、次ノ問題ニ移リマス、勸業銀行ニ付テノコトデアリマスガ、此債券ヲ發行スル間ハ勸業債券ノ發行ヲ中止スルト云

フ御考ノヤウデアリマスガ、サウスルト勸業銀行ハ今日資金難ヲ感ジテ居ルニ拘ラズ、此間益資金ヲ集メルコトニ於テ困難ヲ感ズルコト、思ヒマス、其結果ドウナルカト云フト、高イ利息ノ金ヲ集メナケレバナラヌ、營業ヲヤルニ資金ガ必要デアルカラ、高イ利息ノ金ヲ集メルト云フ傾向ニナラウト思ヒマス、而モ今日ニ於テ既ニ市場ノ金利ガ高イト云フコトヲ一般ニ訴ヘテ居ル所デアリマス、先般大藏大臣カラモ金利ヲ低下スル必要ガアルト云フ御辯明モアツタヤウニ承知シテ居リマスガ、勸業銀行ガ不動産ノ資金ヲ吸收スル上ニ於テ何カ適當ナ方策ヲ御考ニナッテ居リマスガ、モウ一ツハ此金ハ全國カラ一般ニ募集スルモノデアルガ故ニ、少クモ半額ハ地方ノ産業資金ニ御使ヒニナルト云フコトデアリマスガ、是ハ現内閣ニ於テ地方ノ振興ト云フコトニ對シテ冷淡デハナイカト思フデアリマス、即チ地方カラ集メタ金ハ全部地方ニ向ケテ、地方産業ヲ進展サスト云フ方策ヲ執ラル、ノガ機宜ニ適シテ居ルト思ヒマス、然ルニ震災地復興ノ爲ニ少クモ其半額ヲ御使ヒニナルト云フコトデアルカラ、本案モ地方ヲ進展サスト云フコト、相容レヌ案デアルト考ヘルデアリマス、政府ハ此地方ヲ發展サスト付テ何カ徹底的ノ御方策ヲ持ッテ居ラル、カ、此二ツノ點ニ付テ御答辯ヲ願ヒタイト思ヒマス

○小野政府委員 預金部ガ引受ケルコトガアルカモ知レヌト云フ點ガ分ラヌト云フコトデアリマスガ、ドウ云フヤウニ説明シテ宜イカ、ソレ以上ノ説明ハ出來マセヌ、併シ政府ハ此募集ハ出來ルト

思ヒマス、萬一出来ナイトキニハ是ハ假想ノ問題ニナリマスカラ彼レ此レ問答スルコトハ如何カト思ヒマス、尙ホ第二ニ勸業銀行ガ困ルデハナイカト云フコトデアリマスガ、是ハ決シテ困リマセヌ、實質ニ於テハ政府ノ債券デアルガ、實際ハ勸業銀行ガ割増債券ヲ出スノデアリマシテ、何等變ル所ハアリマセヌ、最後ニ地方振興ヲ等閑ニシテ居ルノデハナイカト云フ御話デアリマスガ、是ハサウデアリマセヌ、此法律案提出ノ理由ニモ書イテアリマス通り、震災地ノ復興及地方産業ノ振興ヲ圖ルノデアリマス、加之郵便貯金ノ常設的施設ニ依リテ、普通ノ郵便貯金モ從來ヨリ多クナラウト期待シテ居リマスカラ、其方カラモ相當多クノ金ガ振向ケラレルコト、思ヒマス

○岡田委員 質問ノ項目ヲ先キ申上ゲマス、昨日申上ゲタコトヲ一寸讀ンデ見マスルト、「三十八年通牒ノ趣旨ニ依リ先ツ公共團體ノ資金ニ供給スル爲四十二年度以降自然ノ發展ニ基ク郵便貯金増加額(千二百萬圓)ノ四分ノ一竝本獎勵ノ結果ニ因ル同増加額ノ二分ノ一ヲ下ラサル範圍内ニ於テ毎年預金部ニ於テ勸業債券及拓殖債券ヲ引受ケ勸業銀行、農行銀行及拓殖銀行ノ貸出資金ニ融通ノ途ヲ開クコト」是ガ昨日申上ゲタ項目ニナッテ居ルノデアリマシテ、昨日ハ政府ガ地方長官ニ約束サレテ居ル一億圓以上ノ借金ヲ如何ナル方法ヲ以テ棒引ニサレルカト云フコトヲ伺フタノデアリマス、尙ホ私ハ之ニ就テノ表ヲ御配付ヲ願ヒタイト思ヒマス、ソレカラ獎勵ノ方法ヲ講ズルト云フコトヲ昨日御辯明ニナリマシタガ、其獎勵ノ方法ニ付テハ御腹

案ガアルカナイカ間キ洩シマシタノデ、御復案ガアルナラ御發表ヲ願ヒタイ、又此資金ヲ運用スルニ付テハ、從前ノ如ク預金部ノ金ヲ利用スルト同ジ事ヲアルノデアルカ、或ハ特殊ノ機關ヲ以テヤルノデアルカ、特殊ノ機關ヲ以テスルナラバ、其御腹案ハ如何ナルモノデアルカ、而シテ此運用ノ方法ニ付テハ、昨日政府ノ事業ニ之ヲ運用スルコトハナイカト云フ御言明デアル、其他ニ付テハ公共團體、其他個人ニ對シテモ融通スルト云フコトデアリマスガ、政府ハ斯々ノ事業ガ必要デアルト認メタナラバ、其事業ヲ抜き出シテ、ソレヲ公共團體等ニ示シテヤル、例ヘバ貧民ノ住宅ガ必要ダト認ムルナラバ、住宅組合ヲ造ルナリ、或ハ又政府ノ事業トシテハ健康保險法ノ如キ、今コソ造ルベキ時デアルト思ヒマスガ、政府ハ其僅カナ經費ヲ惜ンデ、健康保險ノ實施ヲ延ベテ居ル、斯ノ如キモノヲ以テ今日ノ勞働者ヲシテ中産階級ノ地位ニ進メルコトハ、最モ時宜ニ適セルモノト思ヒマス、若シ金ガナイナラバ、斯ノ如キ方面ノ金ヲ運用セラレテ、必要ナ支出ヲスルコトガ大切ダト思フノデアリマスガ、左様ナル點ニ付テ政府ノ考ハドウデアルカ、又勸業銀行、農工銀行ヲ經テ運用セラレルト言ヒマスガ、今日勸業銀行等ハ、例ヘバ土地建物ニ付テ金ヲ貸スニ付テモ、土地ノ附カナイ建物ニハ絕對ニ金ヲ貸サヌ、政府ハ矢張斯カル制限ヲ維持セシメルカ、或ハ之ヲ緩和セシメテ、建物ニ對シテモ相當ノ融通ヲスル御考ガアリマスカドウカ、又聞ク所ニ依レバ、東京市ニ於テハ市ガ保證シテ政府ヨリ低利資金ノ融通ヲ受ケテ、是デ

以テ復興事業モヤラウト云フコトヲ伺フタノデアリマスガ、此事ト今回ノ復興債券ノ發行トハ關係ガアリマスカ、其點ヲ差支ナイ限リニ於テ御發表ヲ願ヒタイノデアリマス、ソレカラ運用ノ方法ニ付テハ農工銀行、勸業銀行ノ手ヲノミ經テ運用サレルノデアルカ、或ハ普通ノ低利資金ト同ジ方法ヲ維持セラレルノデアリマスガ、或ハ又之ヲ更ニ擴張サレルノデアルカドウカ、擴張サレテ、勸業銀行、農工銀行ノヤウニ手数料ヲ取ラナイ所ノ直接貸ヲヤッテ貰ヒタイト云フコトガ、一般ノ希望デアリ與論デアルガ、其與論ヲ容ラレルカドウカ、此際御聲明ヲ願ヒタイ、ソコデ府縣市ニ於テモ、直接事業ヲ爲スノデアリマスガ、其資金ヲ政府ガ預金ヨリ得ルモノガドウシテモ三十億以上ニナルト想像シテ居リマス、其他ノ分ニ付テハ、如何ナル方法ヲ以テ、資金ヲ集メテ之ヲ貸スノデアリマスガ、他ニ政府ニ方法ガアレバ伺ヒタイ、ソレカラ此資金ノ吸收ニ付テハ、何故ニ勸業銀行ノミヲ御用ニナルカ、寧ろ是ハ政府ガ郵便貯金ヲ集メルト同ジ方法ヲ以テ、全國ノ郵便局ヲ活動セシメテ、政府ガ直接ニ之ヲ吸收サレテハ如何デアリマスガ、ソレカラ此二億圓ヲ利用スルニ付テハ、一般ノ低利資金ノ融通ニ影響スルカセスカト云フト、セヌト言ハレタ、所ガ只今ノ杉君ノ問ニ對スル御答デハ、影響ノ虞ガアルト言ハレタ、詰リ二億圓デ足ラナイ時ニハ、ソレダケ低利資金ノ方カラ融通スルカモ知レヌト云フ、ソレ故影響スルノカ、セヌノカ、其點ヲハッキリ御答辯願ヒタイ

○小野政府委員 一番終リニ力説サレタ點カラ御

答へ致シマス、政府ハサウ考へテハ居リマセヌ、詰リ杉君ハ假想的ノ問ヲ出シマシタカラ、私モ假想的ノ答辯ヲシタニ過ギマセヌ、邇テ第三ノ方ハ、四十二年度、四十三年度、大正元年ハ豫算通り行テ居リマスガ、併シ大正二年ニ郵便貯金ガ二百万圓計リ減ジタコトガアリマス、其時デモ低利資金ヲ融通シテ居リマス、二百万圓減ジタニ對シテ千百万圓出シテ居リマス、所ガ内輪ノ事ヲ申セバ、其時以來増ス時ハ増シタダケノモノ、四分ノ一若クハ二分ノ一殖エルガ、減ジタ場合ニハドウスルカト云フコトガ問題ニナリテ居ル、極ク内輪ノ事ヲ申セバ内務省關係ト大藏省トノ問題ガ起リタ、併シ減タカラト云テ前ノモノヲ返ス譯ニモ行カナ、是等ノ協定ガ思フヤウニ嚴守サレナイノデ今日ニ及ンデ居ルノデアリマス、併シ別ニ差上ゲマス表ニ依テ御了解下サルヤウニ、今日マデノ所ハ結局四千万圓ノ出シ不足ニナリテ居リマス、協定ヲ遂行スルモノトスレバ一億ニハナリテ居リマセヌ、併シ吾々屬僚トシテハ、此當時ノ協定ハ成ベク守リタイト思フテ居ル、又預金部ノ運用ト云フモノハ、斯ノ如キ方面ニ行クコトガ理想デアルト考ヘテ居リマス(岡田委員「屬僚デナク大藏省ノ意見ハ」ト呼フ)大藏省ノ意見モ其通りデアリマス、ソレカラ次ニ貯蓄獎勵ノ腹案ト云フコトデアリマスガ、是ハ腹案デアリマスカラ今申上ゲル運ビニハ至リマセヌ、必ズ通常議會マデニハ成案ヲ得ル積リデアリマス、暫ク政府ノ爲ス所ヲ待テ戴キタイ、ソレカラ預金部ノ資金運用ニ付テハ甚ダ不満足デア、此事柄モ實ハ殆ド十數年來唱道セラレタコト

デアリマシテ、又昨日モ御質問ニ對シテ御答致シタノデアリマスガ、之ニ就テハ預金規則ノ改正、即チ法律ノ改正ト運用ヲスルニ付テ、廣ク衆智ヲ集メ、其意見ヲ參酌スルト云フ方法ヲ採リテ如何カ、此二ツガ從來ニ於テモ考ヘ、又議院ニ於テモ唱ヘラレタル問題デアリマス、是等ノ點ヲ政府ハ能ク考慮致シマシテ、是亦成ベク近キ機會ニ於テ御相談ヲ致シタイト思フテ居リマス、其次ニハ住宅ノコトデアッタヤウデアリマス、是モ全ク御同感デアリマス、今回賣出シマスル此貯蓄債券ニ依テ得タモノハ、其方面ニモ廻シタイト云フ考ヲ持ッテ居リマス、併シ健康保險ノ問題ハ、是ハ餘程沿革モアリマスシ、此五箇年間ヲ一ノ期限トシテ限局サレテ發行スル所ノ債券ニ依テ得タ金ヲ、此方面ニ出スト云フコトハ如何デアリマセウカ、健康保險ノ方ハ年ニ約四百万圓バカリデアリマス、是ハ増加スル一方デアルカラ、是ハ財政計畫トシテ考慮スベキモノト思ヒマス、御趣旨ニハ反對デアリマセヌガ、此金ヲ其方面ニ廻スコトハドウカト思フテ居リマス、次ニハ勸業銀行ニ於テ十分ナル貸出ガナサレテ居ナイ、斯ウ云フ非難ハ吾々モ始終耳ニ致シテ居リマス、之ニ就テハ何等カ一ツ其方面ノ非難ヲ緩和スル方法ヲ講ジテ居ル積リデアリマスガ、現在ノ日本勸業銀行法ニ依ルト、建築シ終ヘタモノデナイト貸出シ得ナイコトニナリテ居リマス(岡田委員「土地ガナケレバ貸出シマセヌ」ト呼フ)現在ノ遺方ハサウデアリマセウガ、法律ハ建物ガ出來レバ貸付ケルト云フコトニナリテ居リマス、併シ今日ノ民間ノ要求ハ建物ノ建築ノ終ラヌ中ニ

貸シテ貰ヒタイト云フノ希望デアリマス、又土地ノ無イ者ニ就テ家屋ノミニ貸シテ貰ヒタイト云フノデアリマス、此點ニ付キマシテ當業者ト大藏當局トノ間ニハ種々ノ交渉ヲ重ネテ居リマスガ、其經緯ニ付テハ後程他ノ政府委員ヨリ御答スルコトニ致シマス、尙ホ東京市デ要求シテ居ル信用組合ナドニモ矢張此募集ニ依テ得タモノヲ廻シタイト云フ考ヲ持ッテ居リマス、ソレカラ勸業銀行、農工銀行以外ニ即チ地方團體ニ直接ニ貸出シマシテ貰ヒタイト云フコトハ、是亦多年ノ問題デアリマシテ、從來ニ於テ大藏省ハ實行シタ例モアリマス、成ベク御話ノ通り勸業銀行、農工銀行ヲ經由シナケレバ、ソレダケ手數料ガ減リマスカラ、債務者ニ取ッテハ便利デアリマスケレドモ、大藏省トシテハ大切ナ資金デアリマスカラ、成ベク保障力ヲ持ッテ居ルコトガ安全デアリマス爲ニ、此問題ハ直ニオイソルト承諾スル譯ニハ參ラヌデアリマス、場合々々ニ依テ十分考慮スベキ問題ト考ヘマス、尙ホ復興費ノ十二億デアルトカ、其他地方團體ノモノヲ合スルト三十億ト云フ御話、此數字ハ一寸私ニハ吞込メマセヌガ、國カラ地方ヘ貸スモノ、地方ヘ補助スルモノ、是ハ總テ十二億デアリマス、ソレデ地方ノ補助ヲ受クルモノハ勿論ソレマデノコトデアリマスガ、貸付ヲ受クル者ニ自分ニソレダケノ力ガアリ、支出ガ出來レバ借リ譯ハナイノデアリマス、金ガ無イカラ貸付ヲ受ケルノデアリマス、結局私共ハ今回貸サウト云フ金以外ニ、地方團體ニ他ニ金ガアルヤウニハ想像サレマセヌ、是ハ岡田君ノ御尋ヲ了解シ得ラレマセヌカラ、三十

億ト云フコトニ付テハ私ノ方カラ伺フタ方ガ宜ク
ハナイカト思ヒマス、ソレカラ最後ニ勸業銀行ニ
扱ハセルノヲ、郵便局ヲ使フテハドウカト云フコト
デアリマスガ、割増金ヲ行フテ居ルノハ日本デハ勸
業銀行ノミデアリマス、勸業銀行ハ之ニ就テハ特
別ノ經驗モ持ッテ居ルノデ、矢張勸業銀行ヲ利用ス
ルコトガ適當ナリト考ヘテ居ル次第デアリマス
○本募委員 私ガ伺ヒタイ點ハ、昨日來ノ委員會
ノ御説明ニ依ルト、勸業債券ヲ從來發行シタト同
ジ條件デ復興貯蓄債券ヲ發行スルト云フコトデア
ルカラ、今ノ工合デハ從來勸業資金ニ應募シタ程
度ノ者ガ之ニ應ズルコトニナラウト思フ、而シテ
從來勸業債券デ募集シタ金ノ大部分ハ、之ヲ農工
銀行ニ代理貸付ヨシ、ソレガ是マデ農村ヤ地方産
業團體ノ振興ニ使ハレテ居ッタデアリマス、所ガ
今ノ復興貯蓄債券ト云フモノハ、其金デ二ツニ分
レテ、一ハ帝都復興ノ資金トナリ、其稍、半分ヲ地
方團體ニ使ハレルト云フコトニナリマス、地方
産業振興ニ對スル金ハソレダケ減リハシナイカ、
此點ニ於テ大藏省ハ從來預金部カラ地方産業ニ廻
シテ居ッタ金ヲ、更ニ増額スル必要ハ認メナイノデ
アリマス、是ガ一ツ、モウ一ツハ國家ニ於テ斯ウ
云フ小額ノ債券ヲ募集スル場合ニ於キマシテ、殊
ニ濱口大藏大臣ノ如ク力ヲ盡シテ勸諭力ヲ唱道
シ、盛ニ宣傳ヲ行フテ募集スルト云フコトデアリ
マスガ、此宣傳ノ結果ハ從來ノ例ニ依ルト、地方ノ
官憲ハ動モスレバ中央當局ノ意ノ在ル所ヲ履キ違
ヘマシテ、強制的ニヤラセル、或ハ強テ勸誘スル
カノ如キ風ガアル、此關係上柔順ニシテ而モ無智

ナル農民ハ、無意識ノ強制ニ依ッテ近來疲弊シテ
居ル所ノ農村ニ向ッテ、益々此貯蓄債券ニ應募セシ
メルト云フ傾ガズリハセヌカト云フコトヲ私ハ憂
ヘテ居ル、此點ニ付テハ十分ニ大藏當局ノ意ノ在
ル所ヲ地方長官ニ御通達下サツテ、從來ノ如ク當局
ノ意ノ在ル所ヲ知ラズシテ、唯、言葉ノ枝葉末節ニ
馳セテ、地方官憲ガ中央ニ迎合シテ、而シテ無意
識ニ柔順ナル所ノ農民ガ強制サレテ、貯蓄スルト
云フヤウナコトノナイヤウニスルニ付テハ、ドウ
云フ考ヲ持ッテ居ラレマス、ソレカラ今一ツハ岡
田君カラモ御質問ガアッタ思ヒマスガ、從來農工
銀行カラ金ヲ貸シテ居ルコトハ大部分勸業銀行代
理貸付デアツテ、隨テ農工銀行ハ農村ト勸業銀行ト
ノ間ニ居リマス爲ニ、ソレダケ金利ガ何時モ高カ
タコトハ當然デアアル、然ラバ今度勸業銀行カラ政
府ガ此金ヲ御回收ニナルヤウナ方法ヲ執ッテ、若シ
今ノ保證云々ト云フ御言葉デアリマスルガ、實際保
證ノ問題ニ至リマシテハ、農工銀行ニ委シテ置ク方
ガ却テ危險デアアル、農工銀行ノ今ノ状態ハ地方ノ
政黨政派ノ争ノ中心ニナツテ居ッテ、政友會ノ盛ン
ナ時ニハ政友會ノ地方ニ於テハ五百圓位ノ擔保價
格シカナイモノニ千圓位貸スヤウナ話モ聞イテ居
ル、其他ノ黨派ニ於テモ斯ウ云フ非難ガ大分アツ
ノデス、保證云々ト云フ言葉ノミヲ以テ此大ナル
金ヲ農工銀行ヲ通ジテ貸スト云フ理窟ハ立タヌヤ
ウニ私ハ考ヘテ居リマス、地方ノ事情ニ勸業銀行
當局ガ通ゼザル結果、農村ノ事情、或ハ地方産業
振興ノ眞ノ事情ヲ知ルノ機關ガナイト云フノナラ
バ、是ハ地方カラ相當ノ委員制度ナリ何ナリノ制

度ヲ設ケテ、直接勸業銀行ガ各地方ニ出テ、サウ
シテ地方産業振興ノ爲ニ大切ナ金ヲ使ハレタイト
私ハ考ヘテ居リマス
○小野政府委員 勸業銀行ノ今マデ得タ資金ヨリ
モ、此方ガ少クナラウト云フ御話ノヤウデアリマ
シタガ、勸業銀行カラ割増債券ノ出テ居ルノハ此
頃千六百萬圓デアリマス、政府ハ之ニ依ッテ二千萬
圓得ル積リデアリマス、寧ロ多クモ少イ事ハナ
カラウト考ヘテ居リマス、ソレカラ貯金ニ付テ強
制シテ居ッタト云フコトハ是ハ何時ノ事ヲ仰シヤ
ルノデアリマスルカ、私ハ察間ニシテ想像ガ付カ
ヌノデアリマスガ、今回政府ノ持ッテ居リマスル腹
案ハ先程岡田君ノ御質問ニ對シテ御答致シタ次第
デアリマスガ、其方法ハ決シテ強制ハ致サヌ積リ
デアリマス、サウ云フ事ヲ致シテモ長續キ出來ル
モノデハナイト思ヒマス、常設の恒久的ノ施設ト
シテヤリタイト云フ考デアリマスカラ、サウ云フ
事ハイカヌト考ヘテ居リマス、能ク御注意ノ點ハ
考慮ニ加ヘル積リデアリマス、最後ニ農工銀行ヲ
經由スル事ハイカヌト云フ事デアリマスガ、成程
農工銀行ニハ當弊ト云フモノノ加ッテ居ルト云フ
コトハ始終耳ニ致シテ居リマス、併シ近來ハ餘程
其點ハ少ナカラウト考ヘテ居リマスガ、サウ云フ
事ガアリマシタラ、ドウゾ御遠慮ナク吾々當局ニ
御注意下サルコトヲ將來御願シテ置キマス
○壽委員 今日カラ委員ニナリマシタカラ、或ハ
重複シタコトヲ聽クカモ分リマセヌガ、一二點私
ガ聞漏シテ居リマスル所、疑問ノアリマスル所ヲ
御伺ヒ致シマス、此法案ハ一面國民ノ貯蓄ヲ獎勵

スルト共ニ、地方産業ノ振興ニ必要ナル資金ヲ調達シタイ、勿論震災地ノ復興資金モ其中カラ出シタイト同時ニ、地方産業ノ振興ニ必要ナル資金調達モ重要ナル目的ニナリテ居ルヤウデアリマスガ、私ノ考ヘル所デハ今マデノ割増金付勸業債券ニ致シマシテモ、或ハ其他ノ方法ニ依リマシテ政府ガ集メマシタル金ヲ、低利資金トシテ出シマスニ致シマシテモ、地方産業振興ニ直接ニ關係ノアルモノハ多クナイ、寧ろ間接ノ事柄ガ多イ、地方産業ヲ振興セシムルニハ色々ナル方法モアリマスルガ、私ノ考ヘル所ニ依レバ、此産業組合ノ發達ヲ促シテ、サウシテ之ニ依ッテ資金ヲ得、之ニ依ッテ又其資金ヲ直接産業ノ方ニ運用セシメルト云フコトガ、最も必要デハナカラウカ、斯ウ云フヤウニ考ヘテ居リマスルノデ、若シ今マデノ方法以外、此法案ヲ實行スルト云フ事ニナリマスレバ、地方産業組合殊ニ信用組合ニ於テ集メル所ノ資金ヨリモ、此方ガ射倖心ヲ挑發シテ、而シテ尙ホ政府ガ之ヲ借りルノデアリマスルカラ、隨テ此産業組合ニ集ルベキ所ノ金ト云フモノハ全然集ラナクナツテ、此方面ニ向ヒマス爲ニ、産業組合ノ發達ト云フモノヲ阻礙シヤシナイカ、産業組合ガ金ヲ集メル方面モ、或ハ産業組合ガ其集メタル金ヲ運用スル資金モ、無クナルノデアリマスカラ、隨テ産業組合ノ發達ガ阻礙セラレヤシナイカト云フコトノ疑ヲ持ッテ居ルノデアリマスガ、政府當局ハ之ニ對シテドウ云フ御見解デアリマセウカ、其點ヲ伺ヒマス

重要視スベキ事ハ同感デアリマス、故ニ二三年前ニ産業組合中央金庫ノ設立トナツタ次第デアリマス、吾々ニ於テモ此産業組合ノ發行スル産業債券、之ヲ消化スルノモ矢張預金部ノ力ニ俟ツベキモノデアルト云フ議會ノ意思ナリハ尊重シテ居ルノデアリマス、ソレハ少シ餘談ニナルヤウデアリマステレドモ、從來此割増債券ニ依ッテ勸業銀行ガ得タル資金ハ矢張産業組合ニ廻ッテ居ルノデアリマス、今其數額ハドレダケアルカト云フコトハ一寸御答出來マセヌガ、此貯蓄債券ニ依ッテ得タル金モ、矢張産業組合ニ廻ルノデアリマス、此點ハ少シモ違ヒマセヌ、其以外ニ大藏省ノ預金部トシテ、普通ノ郵便貯金ニ依ッテ得タル金ガ、矢張産業組合ニ廻ッテ居リマス、サウシテ郵便貯金ハ政府ガ近ク成案ヲ得テ實行シタイト云フ貯蓄獎勵ノ方法ニ依リマシテ、從來ヨリモ二層上ルベキコトヲ期待シテ居ルノデアリマスカラ、其方面ヨリスル産業組合ヘノ資金供給モ多クナラウト思ッテ居リマス、諸君ノ御心配ニハ寧ろ私共ハサウハ考ヘテ居ラヌノデアリマス、御安心下サツテ宜カラウト思ヒマス

行カレルヨリモ、直接産業ニ接觸シテ居リマス所ノ産業組合ガアリマスカラシテ、是ガ發達ヲ阻礙スルヤウナ方法ヲ執ラズニ、之ヲ獎勵セラレタガ産業ノ發達上寧ろ必要ナル事デハナカラウカ、此必要ノ程度ニ應ジテ政府ノ意見ヲ聽イテ居ルノデアリマス

○小野政府委員 私共ノ承知致シテ居リマス所ニ依リマスト云フト、産業組合デ餘リサウ思フヤウニ貯金ガ集ラヌヤウデアリマス、現在ノ産業組合デハマダ中々思フヤウナ發展ガ出來テ居ナイヤウデアリマス、矢張是ハ政府ノ方デ指導ト云ヒマスルカ、或ハ助長ト申シマスルカ、矢張斯ウ云フ方法ヲ執ッテ行カケレバ、ドウモ産業組合ノ自力デハ今ノ所デハ十分デアラウト吾々ハ見テ居ルノデアリマス、併シ産業組合自身ニ於テモ諸君ノ御希望ノヤウナ事ニナルコトヲ吾々ハ希望致シテ居ルノデアリマスガ、決シテ是ハ併行シナイモノデハナカラウト思ヒマス、兩々相俟ッテ産業組合ノ資金ガ充實サレルコトヲ希望スル次第デアリマス

○加藤委員 私ハ簡單ニ三ツノ事項ニ付テ御尋イタシマス、第一ハ復興貯蓄債券ノ賣出方法、政府ハ勸業債券ノ方法ニ依ルカ、又ハ變々手心ヲ御持ニナルカ、第二ニ只今木暮君ノ質問ニ對シマシテ地方農民ニ對シテハ強制貯蓄ヲサセナイト云フ御答デアリマシタガ、地方農民ニ對スルコトハ能ク分リマシタ、此國力ヲ恢復スル爲ニ國民ガ非常ナ努力ト決心トヲ以テシナケレバナラヌ、又ソレヲ促サナケレバナラヌト云フコトハ、常ニ大藏省

ノ政府委員が言フテ居ラレマス、ソレデ政府自ラ
範ヲ示サセルト云フコトヲ度々聞イテ居ルガ、其
意味ニト云フ譯デハナイガ、此強制貯金ヲ官公吏
若クハ之ニ準ズベキ人ニ、或一定ノ額ヲ強制貯金
ヲサセルト云フ御考ハ持ッテ居ラレナイカ、或ハ
將來サウ云フ方法ヲ考ヘテ居ラナイカ、第三ニハ
之ニ依ッテ得タル資金ハ住宅組合ノヤウナモノニ
モ貸シタイト云フヤウニ承リマシタガ、東京市ガ
低利資金ヲ貸付ケテ居ル、ソレニ依ッテ家屋ヲ建
築シテ居リマスル人ガ、吾々ノ見受ケマスル所デ
ハ、往々此低利資金ヲ借リル目的ニ反シテ居ル行
爲ヲヤッテ居ルモノガアル、例ヘバ家ヲ建テ、其家
屋ヲ住ハズニ高イ家賃ヲ取ッテ、之ヲ他人ニ貸シ
テ儲ケテ居ル人ヲ度々吾々ハ發見シテ知ッテ居ル
ノデアリマス、斯ウ云フ人ニ對シマシテ政府ハ如
何ナル對策ヲ考ヘテ居ラレルカ、從來ノ如ク構ハ
ズニ貸付ケラレル方針デアリマスカ、如何デアリ
マスカ、此三項ニ付テ御尋ヲ致シマス

○小野政府委員 賣出方法ハ大體勸業銀行デヤッ
テ居ルト同ジ方法、デヤル積リデアリマスルガ、之
ハ加藤君何カ細カイ御質問ノ前提トシテノ御尋デ
ハナカラウカト思ヒマスルガ、モウ少シ詳シイ御
質問ヲ拜聽シタガ宜カラウト思ヒマス、大體ハ
其方法ニ據ル積リデアリマス、ソレカラ官公吏ノ
強制貯金ト云フコトデアリマスガ、之ハ或官廳ニ
於テハ現在モ行ッテ居リマスケレドモ、之ヲ一ツ
擴メル方ガ宜カラウ、總テノ官廳ヲ通ジテヤルコ
トニスル方ガ或ハ好クナカラウト私ハ考ヘテ居
リマスガ、未ガ徹底的ノ御答ハ致ス所ニ參リマセ

ヌ、第三ノ住宅組合ニ付テ其組合員ニシテ往々商
賣ヲシテ居ル者ガアルト云フコトデアリマスガ、
サウ云フコトハ吾々能ク耳ニ致サンノデハアリマ
セヌ、洵ニ遺憾ナコト、思ッテ居リマスガ、是ハ
其當局ニ於テ十分注意サレテ居ル筈デアリマス、
尙ホ御心付ノ點ガアリマシタナラバ、ドウゾ具體
的ノ實例ヲ御話ヲ願ヒタイト存ジマス、ソレニ依
テ然ルベキ善後策ヲ講ジタイト存ジマス

○高木委員 一寸承リタイ、此二億圓五箇年ト限
ラレテアリマスガ、大體是ハ三箇年デモ二箇年デ
モ景況如何ニ依ッテハ更ニ之ヲヤリ返シテ、三億
圓或ハ四億圓ト云フ所マデ延ス考デアルカ、此邊
ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○小野政府委員 只今ノ御尋ニ對シテハ何トモ申
上デ兼ネマスルガ、若シ三箇年内ニ三億圓ニ至
タ、併シ尙ホ資金ノ需要ハ緊切デアアル、サウシテ
引續イテ小額債券ノ賣出ヲヤルコトガ適當デア
ルト云フ時期ニ至ッタナラバ、又サウ云フ方法ヲ執
ラウト言フコトハ今考ヘテ居リマセヌ

○高木委員 之ハ至極結構デアリマスガ大宣傳ヲ
ヤッテ貯蓄獎勵ヲヤル、此意味ハ勿論一般ノ貯蓄
獎勵ノ意味デ單リ此債券ニ依ッテノミノ宣傳デハ
ナカラウヤウニモ思ハレマスルガ、併シ此債券ノ
ミノ宣傳デアルト、其影響ハ一般ノ郵便貯金ニモ
影響シヤシナイカト思フ、成程直接ニハ利子ガ四
分デアリマスケレドモ、實際ト云フモノハ五分五
厘ニナル、割引ガアリ割増ガアル、郵便貯金ヨリ
モ此方ガ宜カリサウニ一般ガ必ズシモ考ヘナイデ
ハナイト思ハレル、勿論郵便貯金ハ何時デモ勝手

ニ引出セルガ、之ハ何時デモ金ニ換ヘルト云フコ
トハムツカシイ、性質ハ勿論違ッテ居ルノデアリ
マスルガ、ドウモ此債券ニ依ッテ預金部ガ却テ其
領域ヲ冒サレルヤウナ嫌ヒガアリハシナイカト思
ヒマスルガ、此邊ニ付テ何カ御考慮ガアルノデス
カ

○小野政府委員 其問題ハ日露戰爭後ニ賣出シタ
ル貯蓄債券ノ時ニモ矢張問題ニナッタヤウデアリ
マス、其結果ヲ見マスルト矢張郵便貯金モ増加シ、
サウシテ賣出ノ方モ行ハレテ居リマス、矢張政府
ハ其方ノ心配ハナカラウト考ヘテ居ル次第デアリ
マス

○木暮委員 簡單ニ伺ヒマス、先程ノ御話デ借リ
タル方ノコトハ能ク分リマシタガ、之ヲ貸ス方ハ
ドノ位ノ利率デアルカ、モウ一ツハ勸業銀行デ貸
付ノ方ヲ實行サレルヤウニスルナラバ、寧ろ農工
銀行ヲ間ニ入レマセヌデ、地方長官トカ或ハ農會
ノ關係者ヲ以テ地方ノ委員會制度ノヤウナモノヲ
設ケテ、勸業銀行ノ貸付課ノ者ガ出張シテ農會ニ
聽クト云フヤウナコトヲシテ、地方産業振興ニハ
ドウ云フ方法ヲ執ッタラ宜カラウカト云フコトヲ
御聽下サッテ、委員會制度ヲ設ケルト云フ御意思
ハナイデアリマセウカ

○小野政府委員 初メノ御尋ノ貸付利子ノコトハ
現在ヤッテ居リマスル震災地ニ對スル預金部ヨリ
ノ貸付利子、之ニ依ル積リデアリマス、ソレカラ
割増債券デ得タル金ハ割増債券ニ依ッテ從來ヤ
テ居リマス其率ニ依ッテヤリマス、次ノ委員會ノ
組織デアリマスルガ、實ハ私今マデ此事ニハ思ヒ

及シテ居ラヌノデスガ、ドウデアリマセウカ、若シ委員會組織ニシテサウシテ一債務者ノ身元、信用、財産状態ヲ委員會ガ調査スルト云フコトニナルト、ドンナモノデセウカ、餘程借入ニ困ルヤウナコトガアリマスマイカ、申スマデモナク金融ノコトハ餘程微妙ナモノデアリマスカラ、委員會デテアレニ貸サウトカ誰ニ貸サウトカ云フコトハ、ドウカト思ヒマス、具體的ニマダ纏々考ハ持テ居リマセヌガ、餘程考物デハナカラウカト察セラレマス

○川崎委員 今ノ木暮君ノ御話ニ對シ震災地ニ貸與ヘタ利子ト同ジコト、云フノデスガ……

○富田政府委員 預金部カラ其資金ヲ貸シマス利子歩合ハ、震災地ノ方ハ從來預金部ガ勸業銀行ノ金ヲ出シテ居ル資金ガ八分五厘デ出シテ居リマス、ソレヲ標準ニシテヤル考デ居リマス、罹災地方資金ニ付キマシテハ毎年大藏省デ半期毎ニ貸付ケルコトヲ認可シテ居リマス、其利率ニ依ル考デアリマス、ソレハ公共團體及耕地整理組合、産業組合等ガ七分六厘、年賦貸付ノ方ハ——其他ノ個人貸付、即チ田畑或ハ森林漁業權等ヲ擔保トシテ貸付ケルモノハ七分九厘及八分一厘ニナッテ居リマス、ソレカラ震災地ニ於キマシテ無擔保又ハ擔保ノ不充分ナ者ニ貸付ケルト云フ先刻岡田サンノ御質問ガアリマシタ、是ニ就キマシテハ東京市ノ實業組合聯合會デ造リマシタ復興信用組合ト云フモノガアリマス、ソレヲ通ジテ貸付ケル積リデ只今交渉進行中デアリマス、其場合ニハ回收ノ出来ナイ缺損ヲ補填スル爲ニ、相當利轄ヲ多クシテ

八分五厘ヨリ高クナル、或ハ九分——一割位マデ上ルモノト思ヒテ居リマス

○松本政府委員 東京市横濱市ニ信用組合ヲ造ラセマシテ、サウシテソレニ貸出シマス、利率ハ今政府委員カラ申シマス通り預金部カラ出シマスノハ七分位ノ見當デヤル積リデゴザイマスガ、信用組合ガ更ニ本人ニ貸付ケル利率ハ年賦トカ定期ニ依ッテ九分位ニナルダラウト思ヒマス、ソレカラ地方ノ勸業銀行カラ出ス利率ハ一般ノ勸銀ノ認可利率ニ依ルノデアリマシテ、只今他ノ政府委員ノ申シタ通り、現今デハ公共團體ハ八分六厘、産業組合耕地整理等ニハ年賦ガ七分六厘、定期ガ七分九厘、田畑等ニ付キマシテハ年賦ガ七分八厘、定期ガ八分一厘、財團市街地信用組合等ニ付キマシテハ、年賦ガ八分八厘、定期ガ八分八厘デアリマス

〔表ニシテ配ッテ下サイ〕ト呼フ者アリ

○清水委員 先刻加藤君一君ノ質問ニ對シテ政府委員ノ御答ニ依ルト、官公吏ニハ出來ルダケ獎勵スルト云フ御話デアリマシタガ、普通ノ貯蓄債券ナラバ宜シウゴザイマスガ、割増金付ノモノヲ獎勵スルト云フコトハ、或ハ官紀ヲ紊スヤウナコトニナリハセヌカ、私共ノ考デハサウ云フヤウナ方針ハ取ラヌ方ガ宜イト思フ、ソレニ關聯シテ御尋シタイノハ割増金ノ總發行高ニ對スル歩合ハドノ位デアルカ、ソレガ餘リ多イト射倖心ヲ增長サセ、少イト發行上困難ヲ感ズルダラウト思フ、ドノ位ノ程度デアリマスカ

○小野政府委員 先程加藤君ニ對シテ御答シタノハ、割増債券ノ事ニ就テノミノ考デアリマセヌデ

シタ、一體ニ木暮君カラ貯蓄ト云フコトニ就テ強制サレルノハ宜クナイト云フ概括的ノ御話ガアリマシタ、ソレニ關聯シテ官公吏ハ強制貯蓄ヲシテモ宜イデハナイカト云フ御話ガアリマシタカラ、御答シタルニ過ギマセヌ、ソレカラ割増金ハ一分五厘見當デアリマス

○岡田委員 農行銀行、勸業銀行ハ、兎角土地建物ニ就テ貸ス習慣ガ付イテ居リマスカラ、堅クテ困ル、ソコデ斯ウ云フ特殊ノ場合ニ於テハ、普通銀行ヲシテ貸出サシメテ、其監督ヲ政府ガサレルト云フ御考ハナイカドウデスカ

○小野政府委員 岡田君ノ御質問ハ普通銀行ヲシテ貸出サセテ、ソレヲ勸銀ニ肩代リヲスルコトヲ思ヒマスガ、ソレハ考ヘテ居リマス、ソレモ一ツノ方法、又普通銀行ノ持ッテ居ル長期ノ債券ヲ擔保シテ勸業銀行カラ金ヲ借ル、ソレ等ノ方法ハ十分研究中デアリマス

○八木委員 逓信省ノ簡易保險デ毎年集メル金ノ表ヲ欲シイノデスガ……

○清水委員 今一ツ承リタイ現在ノ勸銀デヤッテ居ル割増金付ノ債券ヲ發行スルトキニ、一種ノ「フローカー」ガ跋扈シテ多クノ手数料ヲ取ル弊害ガアル、此債券——五圓券ナドハ勞働者ニ賣込ムノデスカラ、何カソレヲ取締ル御考ハアリマセヌカ

○松本政府委員 從來ノ割増金付債券ニ付キマシテハ、サウ大シタ弊害ヲ聞イタコトハアリマセヌ、併シ一小部分ニ於テハ間カヌコトモアリマセヌ、ソレデ十分ハ取締リタイト思ヒマス、今度

ノ事ニ付テモ、サウ云フ點ハ十分注意シテヤリタ
イト思ヒマス。

○清水委員 取締ノ内容ハドウ云フ風ニシテヤリ
マスカ

○松本政府委員 別ニ取締ノ内容ヲ具體的ニ申上
グルコトハ出來マセヌ、兎ニ角嚴重ニ監視スル外
アリマセヌ

○小野政府委員 今ノ清水君ノ御話ノ「ブローカ
ー」ト云フ者ハ總テノモノニ附イテ居ルヤウデス、
是ハ賢明ナル清水君ハ能ク御存ジグラウト思フ、
是ガ詐欺取財ニナルトカ何トカ云フコトニ就テハ
監視廳其他ニ於テ取締ル外ナイ、大藏省デハ如何
トモ致方ナイノデス

○清水委員 月賦販賣ナドニハ酷イ事ヲヤッテ居
ルノガアルラシイ

○松本政府委員 有價證券ノ賣買ヲ業トシテ居ル
者ニハ、兎角弊害ノアル者ガアリマス、多分サウ
云フ方面ノ弊害ヲ御聞キニナッタノグラウト思フ、
此ハモウ政府ニ於キマシテモ十分現在監督シツツ
アリ、又此改善ノ途ヲ講ジツツアリマス、サウシテ
サウ云フ不正ノ事ガ行ハレナイヤウニ致シタイ積
リデ居リマス

○清水委員 一例ヲ申上ダマス、能ク支那アタ
リデ色々之ニ似寄ッタヤウナ一種ノ富籤ヲ大連ア
タリデ發行シテ居リマシタガ、其狀態ヲ見マスル
ト買占メマシテ——僅カ二時間カ三時間ノ内ニ發
行シタソノ皆買占メテシマッテ、サウシテソレヲ
高ク賣ルト云フ、或ハ斯ウ云フ風ノモノデモ五圓
デモ二千五百圓ニ付クト云フ關係ガアリマスルト、

或ハサウ云フ風ナ買占ガ起ラヌトモ限ラヌト思ヒ
マス、サウ云フ時ニ兎ニ角何トカ取締ヲシマセヌ
ト、折角買ヒタイト思フ者ガ買ヘナイデ、「プロ
ーカー」ノ手ヲ經ナケレバソレヲドウスルコトモ
出來ナイト云フ弊害ガ起リハシナイカト思ヒマ
ス、ソレヲ憂ヘテ居ルノデアリマス

○本募委員 第三條ノ「割引金額及利子歩合ハ主
務大臣之ヲ定ム」ト云フ主務大臣ガ定メルコトニ
付テハ從來ノ慣例ニ依ッテ、斯ウ云フ風ニ御定メニ
ナッタノデアリマス、或ハ勅令ヲ以テ定メタ方
ガ宜クハナイカト云フ考ヲ持ツ者モアリマス、テ
レドモ、其點ニ付テ御考ヲ承リタイ

○小野政府委員 是ハ從來ノ慣例ニ依ッタノデア
リマス、私共ハ考ヘマスニ、勅令ト云フモノハマ
ア大體矢張法規ヲ規定スルノガ普通グラウト思ヒ
マス、斯ウ云フ經濟上ノ事柄デ利息ガドウトカト
云フヤウナコトハ、勅令デ規定スルコトハ如何ナモ
ノデアリマセウカ、從來ノ慣例モ矢張主務大臣ガ
告示デ以テヤッテ居ル、或ハ命令ヲ以テ勸業銀行
ニ令達ヲヤッテ居ル、斯ウ云フ風ニナッテ居リマ
ス、ソレガ矢張適當デアラウト思ヒマス

○竹内委員長 政府ヘ向ッテ參考材料ヲ御要求ニ
ナルノハモウ是以上アリマセヌカ、御質問ハ大抵
御濟ミニナリマシタカ——ソレデハ私此席カラ一
二御聽キシテ置キタイデスガ、農村振興ノ意味デ
一昨年アタリ法律ニナッタ、彼ノ產業組合ヲ基礎
トシテノ中央金庫デスナ、アレモ多分債券ヲ發行
スルコトガ出來ルト思フテ居リマスガ、此勸業債
券ガ出タナラバ、彼ノ方ハ餘程壓迫サレテ默目デ

セウナ、如何ナモノデセウカ
○松本政府委員 中央金庫ノ產業債券ハ出テ居リ
マセヌ

○竹内委員長 ケレドモ出シ得ルデセウ

○松本政府委員 出シ得ルデス、出シ得ルデス
ガ、彼レハ丁度勸業銀行ノ債券ニ當ルモノデアリ
マシテ——彼レハ農工銀行ノ農工債券ニ當ル積リ
デアリマス、ソレトハ競争セヌ積リデアリマス

○竹内委員長 今一ツ御尋シマス、此復興貯蓄債
券ヲオヤリニナレバ之ニ該當スル勸業銀行ノ債券
ハ休マセルト云フコトデスカ、ソレナラ寧ろ勸業
銀行デヤラシタナラバ、ソレデ違ハヌコト、思ヒ
マスガ、殊ニ政府ガソレヲ取上ゲテ、オヤリニナ
ル理由ハ何處ニアリマスカ

○小野政府委員 ソレハ一應御尤ニ聞エマス、吾々
モソレハ考ヘタノデアリマスガ、矢張政府ガ一
ツ常設的ノ貯蓄獎勵機關ヲ設ケテ、サウシテ是カ
ラヤラウト云フ新シイ計畫ガアルノデアリマス、
サウシテ又矢張復興貯蓄債券ト名前モ變ヘテ、サ
ウシテ一ツ政府ガ此際財政行政ノ整理緊縮ヲ徹底
的ニヤル、此一助トシテヤラウト云フコトノ目新
シイ方法ヲ採ル考デアリマス、此方ガ宜カラウト
思ヒマス

○竹内委員長 ソレカラ今一ツ伺ヒマス、此額ヲ
二億圓ニ限ッテ理由デスナ——此額ヲ一億圓若シ
クハ五年ト云フコトニ限ラレタ算出根據ハ此間大
藏大臣カラ承リマシタガ、是ガ宜イコトナラ四億デ
モ十億圓デモオヤリニナッタラ宜カラウト思ヒマ
ス、ソレヲ態々二億ニ限ルト云フコトハドウ云

フ...

○小野政府委員 無制限ニスルコトハ私宜クナカラウ、是ハ昨日御答シタ積リデアリマス、之ヲ制限モナク年限モ定メズニダラハヤルコトニナルト、是ハ自然貯蓄預金ナシカニモ影響シテ來ハセヌカト思ヒマス、現在ハ度々御話スル通りニ復興資金ガ多量ニ撒布サレマスカラ、ソレデ其撒布サレル五箇年ヲ限ッテヤル、是ハ妥當デアラウ、殊ニ割増ヲスルコトヲ政府自ラ何時マデモヤルコトハ、是ハ宜クナイ、大藏大臣モ言ハレタ通り一體完全無缺ノ制度デアリマセヌカラ、遠慮スベキモノト考ヘルソデアリマス

○竹内委員 是ハ先日何方カ御尋ニナリマシタガ、十圓券ヲ割引シテ五圓デ賣ルト云フコトヲ大藏次官カ御答ニナッテ居ルヤウニ聴取ッタノデアリマスガ、間違ハアリマスマイカ

○小野政府委員 左様デゴザイマス、割引方法ニ依ル場合ハ十圓ヲ五圓デ賣出ス積リデアリマス

○竹内委員 サウスルト五圓券ハ二圓五十錢デ賣リマスカ

○小野政府委員 五圓ハ出サヌ積リデアリマス、十圓ノモノヲ五圓デ賣出スノデアリマス

○竹内委員 額面金額ハ五圓又ハ十圓トストアルカラ、五圓券モ出ルデセウ

○小野政府委員 割引ノ場合ハ五圓ヲ半分ニシテ二圓五十錢トスル考ハアリマセヌ、併シ措置ノ場合ハ五圓券ヲモ出ス考ヘデアリマス

○竹内委員 サウスルト五圓券ハ割引シナイノデスナ、十圓デケテ割引スルノデスナ

○小野政府委員 其通りデアリマス

○淺賀委員 ソレニ關聯シテ承リタイ、割引ニ依ル場合ノ割合ハ總額ニ對シテ、ドノ位デアリマスカ

○小野政府委員 ソレハ一寸只今豫言ハ出來マセヌ、ドチヲドノ場合ニヤルカト云フコトハ、將來ノ問題デアリマスカラ、結果カラ見テ割引ガ多クナルカモ知レマセヌ、措置ガ多クナルカモ知レマセヌ

○浦野委員 割引デ十圓ノヲ五圓デ賣出シタ場合モ、償還ノ時ハ矢張五百倍ノ割増金ヲ御附ケニナル御考ヘデアリマスカ

○小野政府委員 五百倍ト限ッタ譯デアリマセヌガ、五百倍以內ト云フ積リデアリマス、割引モ措置モ同じ積リデアリマス

○浦野委員 サウスルト此場合ハ債券ハ今マデノ勸業貯蓄債券ナドニ比較シテ、債權者ノ方デ所謂第一回ニ當籤シタ者ハ大變ナ利益ニナルヤウニ思ハレマスカ、サウ云フ計算ニナリマスカ

○小野政府委員 從來勸銀デヤッタ例ハ割引ニ割増ガ附イテ居ルノデアリマス、同じコトデアリマスカ

○八木委員 先程御聽キシマシタガマダ出來マセヌカ、一番最初ニ當ッテサウシテ割増ヲ取ッタモノノ利益ハ、二十年後ニ一番最高ヲ取ッタモノトシテ二十年目ニ最高ヲ取ッタモノトシテ、若クハドチラデモ宜シイ一番最初ノデモ宜シイ

○富田政府委員 後程御覽ニ入レルコトト致シマスカ

○山田委員 割引ノ金額ハ十圓券ノ半額ト云フコトデアリマスカ、ドウ云フ風ニ割合ヲ施サレマスカ、割引ノ方法デスナ、ソレヲモウ少シ私共マデ能ク解セマセヌカラ御説明願ヒマス

○藤澤委員 割引ノ半額ト措置キノ利害關係ハドウナリマスカ、私ニモ能ク分リマセヌ

○竹内委員 割引金額及利子ノ歩合ハ、強テ具體案ヲ見セテ吳レト云フノハ無理ト思ヒマスカ、大體ドンナ風ニナルカト云フコトヲ全般的ニ御説明ヲ願ッタ方ガ、便宜カト思ヒマス

〔同感〕ト呼フ者アリ

〔速記中止〕

○竹内委員 外ニ御質問ハアリマセヌカ

○川崎委員 質問デアリマセヌガ、大體今日ハ此位ノ所デ質問打切りノ形トシテ置イテ、次回ニ已ムヲ得ナイ質問ガアレバ御許シニナルコトトシテ、マダ參考書ノコトモアリマスカラ、今日ハ是デ止メマシテ、會議ヲ決定スルニ付テ、各派ニ御相談ニナッテ、委員長ニ於テ適當ノ時期ニ更ニ開會セララルコトニシテハ如何デスカ

○竹内委員 サウスルト斯ウ云フコトニ御諒解ヲ願ッテ置キマス、大體質問ハ是デ終リマシタノデアリマスカ、已ムヲ得ザル場合ガアリマスレバ、次回ニ於テ多少ノ御質問ハ差支ナイコト、御承知置キヲ願ッテ置キマス、ソレカラ政府ハ御注文致シマシタ材料ヲ成ベク明日ノ朝早ク戴キタイト思ヒマス、ソレカラ各黨各派ノ御内議ノ御都合モアリマセウカラ、次ノ會ハ委員長カラ追テ御通知ヲ出ス手續ヲ致シマスカラ、左様ニ御承知置キ

ヲ願マス

○川崎委員 其場合ニ先程私ノ申シマシタ如ク、各派ノ態度ノ御決定ニ依ンテ、今度ノ開會ノ時ニハ討議ニ這入ッテ決定セラルベキコトニ……

○竹内委員長 左様デス、ソレデハ是デ散會致シマス

午後零時二分散會